

あびこ市民活動ネットワーク会報

平成28年7月15日発行

第38号

発行責任者 宇野真理子 我孫子市湖北台 4-11-16

28年度の活動体制について

分野別の分科会活動の企画、実施にご参加を

あびこ市民活動ネットワーク代表 宇野真理子

あびこ市民活動ネットワークは、6月9日に開いた役員会で、28年度の活動体制を決めました。28年度では、全会員向け活動のほかに、市民活動の分野別分科会の活動を強化します。今後の市と市民との協働を推進するために、市の現場部門や市議会の関連部門との情報交換や、連携を進めるためです。このため、市の組織や市議会の常任委員会などを考慮して、分科会の分野区分を見直し、役員の方針も決めました。

とりあえずは、担当役員で、各分科会活動の今後の進め方の検討に入っていますが、どうか、会員各位におかれましては、各分科会活動に積極的に参加し、役員とともに、分科会企画、実施にご参加ください。

一方、全分野にわたる活動としては「地域活動はじめの一步講座」、「団塊世代サミット」（4ページ参照）、「市民のチカラ」（3ページ参照）各プロジェクトのほか、市の首脳陣との懇談会などを進めます。こちらについても積極的提案、参画をお願いいたします。

なお、上記の事業関連部門は足助哲郎副代表が、役員会運営、会員管理、会計など総務部門は藤木顕斉副代表が総括します。

分科会構成と役員分担

①総務・企画・その他分科会

市総務部、企画財政部、市民生活部、消防本部と他の分科会に属さない部局に対応。

担当役員＝石黒敏夫、宇野真理子、原田隆、藤木顕斉、大和哲

②福祉・子ども・教育分科会

市健康福祉部、子ども部、教育委員会に対応。

担当役員＝栗原祐子、重田幸子、多田正志、富野浩司、樋口孝之、柳川眞佐子（幹事）、吉田充

③環境・都市計画分科会

市環境経済部、建設部・都市部に対応。

担当役員＝足助哲郎、遠藤洋子、奥山久美子（幹事）、厨川一夫、島藤紘子、間野吉幸

「地域活動はじめの一步講座」、各分科会で十分ご検討を

地域活動の担い手確保は、あびこ市民活動ネットワークの28年度事業計画でも最大の課題としていますが、実施5年度目を迎える「地域活動はじめの一步講座」は、その中核事業です。今年度は以下の4講座を予定していますが、各分科会で、関係団体も積極的に参加して、その内容、実施方法などをよく

検討し、より効果的なものにしてくださるよう、お願いいたします。

1. 医療・介護制度改正に対する担い手を養成講座
2. 市民による観光振興のための基礎講座
3. 防災・災害時のリーダー養成講座
4. 市民によるこども応援団養成講座

（事業総括 副代表 足助哲郎）

分科会別説明会の希望をお申し出ください

28年度「提案型公共サービス民営化制度」募集始まる

我孫子市は7月1日から9月30日まで、28年度「提案型公共サービス民営化制度」の応募を受け付けます。同制度は、市の全事業（平成28年度では1034事業）の事業内容、事業費を公表、市民団体、企業などから民間の知恵を盛り込んだ提案を出してもらい、審査委員会の審査に基き、市民にプラスになると判断したものは、委託、民営化するというものです。

この制度について、ご要望があれば、所管部局との説明、質疑の場を我孫子市に申し入れます。懇

談希望の部課、テーマなどがあれば、各分科会の担当役員までお申し出ください。

今年度募集要領は、我孫子市ホームページまたは市役所行政情報資料室でご覧いただけます。また、次のいずれかに問い合わせることもできます。

①制度全体について＝総務課 電話：

04-7185-1132 ファクス：04-7184-0577

②個別の事業内容の問合せ＝各課の担当者

各分科会今後の方針について

各分科会は、6月中に、とりあえず担当役員による打ち合わせ会を開き、今後の分科会運営などについて、以下の方針をまとめました。

総務・企画・その他分科会

新しい地域ぐるみ防災講座の検討へ 鶴ヶ島市の支え合い活動などを参考に

当分科会は、行政の総務部、企画財政部、市民生活部、消防本部と連動する一方で、議会の常任委員会と連動して、議会と一体になっての改革も進めたいと思っています。取りあえずは、これらの部門と情報交換を図りながら、各部課の政策を把握し、ネットワーク各団体との懇談等を計画したいと考えています。

当面の具体的活動としては、「地域活動はじめての一步講座」の今年度講座として、新しい切り口の防災講座を考えていきたいと思っています。その参考として注目しているのは、埼玉県鶴ヶ島市（人口7万8000人、高齢化率23%）の「鶴ヶ島第2小学校区地域支えあい協議会」です。この協議会は、広範な住民助け合い活動で、全国的に有名ですが、特に防災での独自の展開で知られています。

同市では平成20年、10の自治会が連携し防災をキーワードに住民活動をすべきと考え、避難所運営委員会を設置しましたが、せっかくの災害時要擁護者名簿があまり活用されず、住民の防災意識も低調でした。そこで、平成23年1月、住民アンケート実施したところ、400名の人が地域で相談でき

る人がいないという半面、700名の方が地域の手伝いをしたい、との回答がありました。このアンケート結果を背景に、同年7月、行政・医師会・社協・学校・PTA・商店会・住民等が参画、上下関係なく、横並びの関係を大切にしながら地域課題の解決しようというこの協議会が設立されました。

同協議会には防災委員会、福祉支えあい委員会、子供委員会、助け合い隊、交流原点整備委員会などがありますが、このうちの防災委員会は、学校と一緒にの避難訓練、大学生も加わっての防災訓練、FM放送による情報発信なども行い、各自治会で災害情報の集約ができるように、訓練を重ねています。

当分科会では、同委員会関係者をお招きして、この防災活動についての学習を進め、過去2回開催された「安全安心『近助リーダー養成講座』」に続く地域ぐるみの地域防災体制づくりのための講座を計画したいと思っています。会員の皆さんのこの講座の企画、実施への積極的なご参加をお待ちいたします。

（分科会幹事 藤木顕齊）

福祉・子ども・教育分科会

高齢者の生活支援では出前講座を 新しく「子ども応援団養成講座」に取り組む

6月28日午後、担当役員が集まり、幹事に柳川幹事を互選したあと、これからの進め方について意見交換しました。

この分科会では、行政の健康福祉部、こども部、教育委員会教育総務部、教育委員会生涯学習部と連携するとともに、議会の教育福祉常任委員会とも連携しながら事業を進めることにし、とりあえずは、28年度の「地域活動はじめての一步講座」として予定されている「医療・介護制度改正に対応する担い手を養成する講座」と「市民によるこども応援団養成講座」の2講座の具体化に取り組みます。

このうち「医療・介護制度改正に対応する担い手を養成する講座」は、27年度に開催した「高齢者の生活支援を考える講座」を、今年度は我孫子市公民館の「市民カレッジ『我孫子を知る』コース」への出前講座として実施することになりました。同コースは、

NPO法人ふれあい塾あびこが平成19年度から受託、実施している市民向けの生涯学習講座で、前半では我孫子の歴史やゆかりの文学を学び、後半では我孫子の現状や課題、市民の地域活動の必要性などを学んでおり、今年度はその一環として、高齢者の生活支援体制が必要なことを呼びかけ、課外授業として、10月から12月にかけて、市内の関連活動の現場5カ所を手分けして訪問していただく予定です。

一方の「市民による子ども応援団養成講座」は、平成27年度スタートの新子ども総合計画の基本目標になっている「地域で支える子育て支援」、「子育てにやさしい生活環境づくり」などの基本目標達成のために、市民としての協力できることを考えて行こうというものです。取りあえずは、行政の施策としてすでに実施している乳幼児期の子育てを支援する

「子育てサポーター養成講座」と同様な体制を、それに含まれない年齢や家庭環境の子どものために作れないか、などの検討から始めようと思っています。

高齢化、少子化などに市民としてどう対応すべきかを考えたい会員の皆さん、ぜひこの分科会にご参加ください。
(分科会幹事 柳川眞佐子)

環境・都市計画分科会

「まちコンシェルジュ」養成講座実施へ 市民によるまちの総合世話係を育成

6月20日午後、担当役員が集まり、幹事に奥山幹事を互選した後、当分科会は地域活動の担い手確保推進のための「市民による観光振興のための、はじめの一步講座」を我孫子の「まちコンシェルジュ」養成講座として実施することを申し合わせました。

「まちコンシェルジュ」とは聞きなれない言葉と思います。ご存知のように、コンシェルジュは、ホテルの宿泊客のあらゆる要望、案内に対応する「総合世話係」というような職務を担う人の職名として使われてきたフランス語です。最近では、派生して

生活サポートサービスを提供するスタッフをコンシェルジュと呼ぶなど広く使われてきています。「まちコンシェルジュ」は、我孫子というまちの「総合世話係」を目指すものです。

「手賀沼のほとり心輝くまち」～人・鳥・文化のハーモニー～、は我孫子市のキャッチフレーズです。これに惹かれて我孫子を訪れる人々に、おもてなしの心で接する「まちコンシェルジュ」が育ってくれば我孫子の観光振興に役立てると確信しています。来年9月末には、我孫子ゴルフ倶楽部で何万人という数の人たちが我孫子を訪れる第50回日本女子オープンゴルフ選手権が4日間に渡って行なわれます。

今年秋口から5回の講座を企画します。初回は都内の一流ホテルからプロのコンシェルジュをお招きして「おもてなしの心」を学びます。2回目以降は我孫子市が掲げている観光振興プログラムから、今回は特に「食」を取り上げ、我孫子の「グルメ店」「特産品店」等が日頃どのようなマーケティングを行っているかを語ってもらい、受講者が我孫子の訪問者になったつもりで店舗訪問することも計画します。また、この第1回講座の受講者の希望も入れながら、「ブラッシュアップ」講座を次回以降企画し、

受講者が現地調査で作成したグルメイラストマップなどをインターネットホームページに掲載することも検討中です。この講座は我孫子の街の身近な情報の集約化を図り、その発信元としてまちの活性化に寄与することを目的としています。これら情報手段を

「まちコンシェルジュ」とし、ブラッシュアップ受講者を「まちコンシェルジュ」として市民間の繋がりが一層深くなる方向になればとの思いです。この度の講座は環境・都市計画分科会活動の新しい分野への挑戦と踏まえており、我孫子市の「まちコンシェルジュ」への第一歩の活動として実現を目指したいと思います。

(分科会幹事 奥山久美子)

「市民のチカラ」準備 その後のご報告

平成28年9月24(土)・25(日)開催の“市民のチカラ”第4回事務局打ち合わせ会議が6月28日、あびこ市民活動ネットワーク・我孫子市市民活動支援課・あびこ市民活動ステーションの出席のもとで開かれ、あびこ市民活動メッセ実行委員会委員長の伊藤さんから、既に前年度を上回る参加申込を受け付けている旨の報告がありました。(パネル展示公益団体; 31団体・造形団体、10団体・パザール(エントランス)9団体・演技団体(舞台)8団体・演技(アビシルベ)6団体・ほか)。

一方、「我孫子のこれからフォーラム」では昨年度の反省を生かし、9階ホールでの講演会などの催しと7・8階会議室での講座などが重なるのを最小限に抑えることで企画が進められています。なお、9月25日(日)午前中は9階ホールにおいて、「我孫子で楽しく暮らすために何ができるか!」をテーマに、まとめのフォーラムが持たれることが決まっています。(事業総括 副代表 足助哲郎)

初の「団塊世代サミット」を開催

“楽しんで地域遊泳!そして繋がり!”

60人が集い、学び、語り合う

あびこ市民活動ネットワークは、7月10日(日)午後、我孫子市民プラザホールで、初めての「団塊世代サミット」～みんなで楽しんで、地域遊泳!そして繋がり!～を開催しました。

今後の市民活動、地域活動の主役と期待される団塊の世代の方々に集まっただき、我孫子市の現状・課題を聞き、「我孫子で楽しく暮らすために何ができるか!」を参加者全員で話し合いました。

当日は、参加申込30人に対し当日申込含め40人の参加がありました。

集いは午後2時開始、まず、宇野代表の挨拶の後、我孫子市副市長青木章氏の基調講演「我孫子市の現状・課題と市民参加への期待」をお聞きしました(写真上)。青

木副市長はこれの中で「いま自治体は市民との共同なくして行政は進められない。団塊世代の皆さんのキャリアを、これからの我孫子のまちづくりに活かしていただきたい」と強調されました。

そのあと市民活動支援体制の説明に移り、あびこ市民活動ステーションについて伊藤宏さん、我孫子市社会福祉協議会のボランティア窓口「て・と・り・あ」について横田光夫さん、あびこ市民活動ネットワークについて当会大和幹事が説明しました。

次いで、入野勝見さん(NPO法人ふれあい塾あ

びこ)と、山崎豊さん(五人会)から地域の活動に入ったきっかけや市民活動の楽しみなど、実体験を通してのお話を頂きました



この後、会場変更に次いで、5グループに分かれて、参加者によるグループ討議を行いました(写真中)。初対面の人が多かったものの活発な意見交換があり、時間が足りないくらい盛り上がりました。皆さんの我孫子に対する思いの強さが感じられました。また、定年

後地域に戻ってからの仲間がいないという方がたくさんいらっしゃいました。



この各グループ討議内容の発表の後、懇親会に移り、缶ビールほかで乾杯、自由懇談が進みました。この間には、地元ジャズバンドAll Display sによるアトラクション

「ビートルズを歌う!」が演奏され(写真下)、団塊世代の多くが夢中になったビートルズの世界に浸り、

午後6時30分、全日程を終了しました。



あびこ市民活動ネットワークは、今回の経験を活かし、今後も団塊の世代への呼びかけを進める一方、団塊の世代の思いやニーズを把握して、この世代の

市民活動参加の拡大を目指します。

(本サミット企画グループ代表 幹事大和哲)

4月22日、28年度定時総会開く 事業計画などを了承 終了後、6市会議員と意見交換

あびこ市民活動ネットワークは、平成28年度定時総会を、平成28年4月22日(金)午後2時から我孫子市民プラザホールで開催しました。

参加会員は委任状とあわせて48団体・個人で、総会員78団体・個人の過半数で成立、足助副代表の司会で、まず宇野代表が「熊本地震があった。我孫子での災害発生時には体制が取れるのか心配である。当ネットワークでは、はじめの一步講座にて災害対応訓練を開催している。少しでも役に立つよう、できるだけ参加してほしい」と挨拶しました。

次いで、星野市長から「種々様々な問題に対して、もはや行政だけでは対応できない。一緒にやるもの、

この後、宇野代表を議長に選出、以下の議題をいずれも了承した。

- 1、平成27年度事業報告
- 2、平成27年度会計報告並びに監査報告。
- 3、平成28年度事業計画案
行政、市民との連携を密にする。市長との懇談会。市議会議員との意見交換会。
担い手確保に向けた各種事業等を行う。(7月10日に団塊サミットを開催する)
- 4、平成28年度予算案
- 5、平成28年度役員人事案

総会のあと、我孫子市議会議員との意見交換会を開催し(印南、内田、海津、坂巻、佐々木、芹沢各議員)、市民活動に対して議員としてどのようなことができるのか、また議員に対して期待することなどについて熱い議論を行いました。(総会書記担当 幹事富野浩司)

民間中心でやってもらうものを仕分けし、それぞれの役割分担が必要である。少子高齢化の中、今後は若い世代を取り入れて一緒に行動していきたい。熊本への支援は現在現地で必要なものに限定して支援を行っている。今後更に支援の幅を広げていきたい」

という挨拶を、また4月着任したばかりの湯下市社会福祉協議会会長から「市社協は来年50周年を迎える。今までのもの

を継承しつつ、時代に合った活動にしていきたい。あびこ市民活動ネットワークとともに福祉向上に努めたい」という挨拶をいただきました。



市民活動支援課から

◆28年度の事業計画の現状について

市民活動支援課長 廣瀬英男

今回は、あびこ市民活動ネットワーク会報第37号にて掲載しました市民活動支援策について現在の状況を以下のとおりお知らせします。

- (1) あびこ市民活動ステーション指定管理者の募集と選考

今年度は指定管理期間終了の3年目となるため、新たに指定管理者の募集(平成29年度から平成31年度まで)を行います。

現在の状況は、6月に募集要領・仕様書の配布、施設の見学、応募申請に関する質疑、その質疑に対する回答を行い、7月上旬には応募申請の受付を行いました。今後は、8月に選考の審査を行い、10月までには指定管理者候補者の決定を行う予定です。

- (2) 市民公益活動の担い手を増やすための新たな取組

今年度は、「担い手づくり」の取組の1つとして、「市民のチカラ」を実施します。

現在は、9月24日（土）25日（日）の開催に向けて、事務局会議等を定期的に開催しています。また、今年度の新たな取り組みとしては、中央学院大学及び川村学園の学生と連携し、若いチカラを取り入れた事業実施を考えています。今後は、8月に参加団体への全体説明会を開催する予定です。

（3）市民公益活動の情報発信力強化

今年度は、広報あびこでの特集記事の掲載と多くの市民に市民公益活動を紹介する「ガイドブック」の作成を検討しています。その他には、パネル展等を活用し広く市民へ理解を求めていきます。

◆28年度の各部局と市民との協働事業のその後の案件について

前回の会報で、平成27年度に実施した協働の調査結果についてお知らせしましたが、今年度実施した調査では、市が市民活動団体や市民実施した市民との協働事業は、17課で35事業行われており、前年度より2事業増えています。その他、ボランティア等で市民の参画がある事業も含めると24課で75事業となり、こちらも2事業増えています。

過去の調査結果を見ても、少しずつではありますが市民との協働事業が増えてきていることがわかります。

次に市民活動団体と市が協働で実施する28年度の事業をご紹介します。

- ①自然エネルギーをすすめる我孫子の会・・・市と市民との協働で自然エネルギーの普及を進め、

（4）市民活動団体活動実態調査の実施

今年度は、市内で公益活動を行う団体を対象とした調査を行います。調査内容は、前回の調査事項を参考に、市民活動団体の活動内容や課題などを把握できるようにします。この調査結果は、今後の市の支援施策を考えるうえで重要な基礎資料となります。近日中に実施する予定ですので、調査回答へのご協力をお願いします。

以上、平成28年度支援事業の主要部分を記載しましたが、既存の支援事業も実施していきますので、事業実施にあたっては更なる皆様のご協力をお願いします。

地球温暖化防止の啓発に寄与するため、我孫子市民誰もが参加できる発電事業を検討する。

- ②ベビーのHAPPYタイム・・・月に一度、ハイハイまでのお子さんと保護者の交流会を子育て支援施設にここ広場で行う。

この他にも文化、福祉、平和事業など様々な分野で市民との協働は進んでいます。

協働は、互いの長所を活かしつつ進めていくことが重要です。団体が持つ活動を通じての経験や独自の市民間のネットワーク、市が持つ統計データや情報発信力等を活かし、今後も様々な関わり合いの中で市民との協働を進めていきますのでご協力をお願いいたします。

本会推薦委員報告

◆第1回我孫子市生涯学習審議会

本年7月1日に、我孫子市教育委員会が新設した我孫子市生涯学習審議会の第1回会合がありました。（昨年までのあびこ楽校協議会と社会教育委員会が合併）

市では全庁的に生涯学習的なものは生涯学習事業として位置づけられているため報告等の資料は膨大な量でした。自己紹介をして、其々の資料の説明を受けながら質問や意見が各委員から出されました。

長寿大学については「参加資格は65歳以上。4年間で卒業してから地域デビューじゃ遅いのでは」「卒業後の地域活動者が見当たらない」などの意見が相次ぎました。

その他「出前学習講座」の内容、登録者、利用回は質と数の面でとても充実していて、この講座を通したコミュニティづくりも今後探る事ができると思えました。また、市として共催、後援している市民事業の数は多数にのぼり、市と市民が我孫子の文化を守り育ててきた事をあらためて実感しました。

いろいろ報告をうけ、①生涯学習課の事業の予算資料、②市の生涯学習の事業予算（職員人件費も含めて）を、各事業別に参加者の数で割った参加者1人当たり

の経費報告 ③事業報告の記述には委託や協働している市民団体名をきちんと入れて欲しいと要望しました。

今回の資料、我孫子市第3次生涯学習推進計画の5つの基本目標には「学んだ成果を活かすことのまちづくり」、「学びでつながるまちづくり」という言葉が入り、まちづくりのために学ぶ、が強調されています。「まちづくり協議会とのかかわりはありますか？」との質問にスポーツ推進課から2件の事例を報告いただいたきりでしたし、「この目標をどの事業の中でどのように実現させてきたのか」という質問には明快な答えは得られませんでした。

生涯学習関係は、施設管理的な業務も多く、限られた予算でコミュニティの活性化、まちづくりの担い手づくりといった重要な課題に対応した事業を行うことの難しさを感じました。

今後は年に3～4回の審議会開催とのことです。審議会長はあびこネット運営委員長の渡辺陽一郎さんで、発言しやすいいいムードでリードしてくださり、我孫子での市民の学習や活動支援の在り方を学ぶ、有意義な時間になるのではないかと思います。

栗原祐子（本会幹事）

◆我孫子市社会福祉協議会「第5次地域福祉活動計画」第2回策定委員会

平成28年5月27日(金)午前10時から策定委員11名、事務局4名にて、名戸ヶ谷あびこ病院会議室で開催した。

冒頭、本年4月就任の湯下会長より、「少子高齢化、核家族化などにより、それぞれのライフスタイルの中で様々な問題が発生しており、求められるニーズが多様化している。市社協として様々な施策に取り組んでいるが、本委員会による論議・提言に基づき今後の活動に取り組んでいきたい」との新任挨拶があった。

次いで、市の人事異動に伴う新委員として、社会福祉課・斉藤委員、障害福祉支援課・菊池委員の紹介があったのち、以下の議事があった。

- 1、社協作成の「我孫子市行政資料のまとめ」の説明と意見交換を行い、様々な事実を確認した。(特筆できる主な内容は以下のとおり)
 - ・平成26年アンケートによる地域の見守り活動への参加可否アンケート結果
(約6割の方が参加してもよいというのに対し、2割の方は参加したくない)

・合計特殊出生率が平成26年度、全国平均1.46、千葉県1.32であるのに対し、我孫子市では1.21であり、平成10年統計時から現在に至るまでこの傾向は変わっていないとの衝撃的な事実に対して、大いに議論となった。

(合計特殊出生率:1人の女性が生涯に何人の子供を産むかをあらわす数字)

- 2、今回新たに行った「自治会・住民アンケート」の集計報告の説明を受け、地域で行うべきこと、地域に支援すべきこと、そのために社協がすることについて課題の洗い出しに向けた意見交換を行った。
- 3、次回会議に向け、子育てや障害に関するアンケート、行政職員や施設職員等へのヒヤリングなどを行い、ニーズを把握することとした。

富野浩司(本会幹事)

新入会員自己紹介

◆音楽交流サークル All Displays

オールディスプレイとは千葉県柏市、我孫子市を中心とした音楽交流サークルです。活動形態(バンド、ソロ)、パート、技術のあるなし、学生、社会人、老若男女など条件は全くありませんさまざまな仲間と音楽活動してみませんか?ロック、ブルース、ポップス、ジャズ、などジャンルは問いません。

活動は天王台駅前のライブハウス haco で行っています。

お問合せは tel 04-7185-8032 e-mail event@alldisplays.net まで。

ホームページ <http://www.alldisplays.net/> をご参照ください。

(代表 浅川翔司)



ボランティアを募集してます!

障がいを持った方の通所施設です。通所者と協働していただけるボランティアさんを募集しております。お電話下さい。(NPO 法人地域活動支援センター ステップ

我孫子市柴崎台3-10-34-103 TEL:04-7183-8877)

あびこ市民活動ネットワーク役員会報告

■4月度役員会(4月14日)

- 1)4月22日開催予定の平成28年度定時総会に関して、総会次第および議題等の検討を行なう。
- 2)総会終了後に開催される我孫子市議会議員との意見交換会について、進行等の検討を行なう。

■5月度役員会(5月12日)

- 1)新入会員(NPO法人ステップ)の報告がされる。
- 2)定時総会(4月22日)の欠席会員への総会決議事項等の報告を文書にて行なうこととする。

3)ACNW ホームページの利用説明会を計画する。

4)ACNW 会則の見直し作業内容を次回役員会にて検討する。

5)7月10日開催予定の団塊世代サミットの内容およびポスター案等について、意見交換を行なう。

■6月度役員会(6月9日)

1)総会欠席会員への資料発送に関する報告がされる。

2)団塊世代サミットについて、プロジェクト・リーダーから詳細説明がされる。

- 3) ACNW の今年度事業の推進体制および会則等について検討がなされる。
4) 「我孫子のこれからフォーラム」の進捗状況等につ

- いての報告がされる。
5) 7月度会報の発行に向けての作業に関して報告がされる。
(事務局 幹事原田)

会費納入にご協力を

28年度会費未納の団体、個人の方は納入手続きを宜しくお願い致します。**(総務会計担当 幹事石黒)**

入退会 入会 ◆NPO 法人ステップ(5月) ◆音楽交流サークル All Displays(7月)

本会にご入会ください 市内で市民活動、市民事業をしておられる団体のほか、市民活動、市民事業にご関心のある個人も入会できます。会費は年額団体、個人とも1000円です。事務局(メール sjxqs255@yahoo.co.jp 電話 080-9293-5269)にご連絡くだされば、会則、申込書などをお送りいたします。

編集室から アドレスご登録の会員には、この会報や、催しのご案内などをインターネットでもお届けしています。アドレスの新規登録をご希望の会員も上記にご連絡ください。

あびこ市民活動ステーションからのお知らせ

****施設利用関係のお知らせ****

【スライド式カッターが新しくなりました】

印刷スペース作業台に設置してあるスライド式ペーパーカッターは、老朽化のために切れ味が悪く切断不良も多くて利用者の皆様にご迷惑をおかけしていましたがこのたび少し大型のカッターと取り換えました。使用法は全くかわりません。不慣れな方はスタッフに遠慮なく使用方法をお尋ねください。使用料は無料です。

【熊本地震災害募金にご協力ください】

地震に続いて大雨の災害にも悩まされている熊本県

災害地への募金を当施設でも行っています。募金箱がオープンスペースと大会議室の間の仕切りを兼ねているキャビネットの上に設置してありますので、ご来館の折に募金をお願い致します。

この募金は市内各公共施設でも行っており、まとめて我孫子市から寄贈されることになっています。

【傘を忘れないようにしましょう】

来館した時は雨でも帰りには上がっている日には傘の忘れ物が多いのでご注意ください。長い間放置されたものは貸出用に供していますので自由にご利用下さい。

【ボランティアスタッフを募集します】

市民活動ステーションが発信するホームページやブログあるいはツイッター等の掲載情報の収集や取材あるいは更新等を手伝ってくれるボランティアスタッフを募集します。気軽に応募して下さい。

ホットライン関係のお知らせ

(ホットラインは市民活動支援業務の窓口です)

【SKSカフェトーク】

8月のカフェトークは手賀沼で遊覧船に乗って「手賀沼でしたいこと。実現するための課題」をテーマに自由なお喋りをする会です。多くの人と会い、多くの人の話を聴くと多くの参考になりますよ。

日時：8月14日(日)

集合：13時。市民活動ステーション大会議室。

内容：けやきプラザから手賀沼ボート乗り場まで遊歩。船上で専門家の説明もあり。

定員：先着20名

参加費：500円(荒天中止)

【ステキなチラシをつくる講座 受講者募集】

Wordで作るチラシ。デザインや色、変形文字などの操作方法を受講。希望者は、自分で

「市民のチカラ レセプション」参加者募集

9月24日(土)～25日(日)の2日間、けやきプラザふれあいホールとエントランス広場、南近隣センターおよびアビシルベで開催される「市民のチカラ」では、開催期間中に下記のとおり交流と懇親をはかるレセプションを開催します。日頃は交流の機会がない異分野の活動団体のメンバーや市民活動に関心がある市民との交流チャンスです。多数の方の参加をお待ちしています。

◎日時:平成28年9月24日(土) 18:00～20:00

◎場所:けやきプラザ9階 南近隣センターホール

◎会費:500円(軽食飲み物付き。当日受付で受領)定員:100名(先着順)

◎申込先:あびこ市民活動ステーション 7185-6300

作った作品を事前に提出し、講師から助言を受けてスキルアップすることもできます。

日時：8月25日(木)13:30～16:30

場所：けやきプラザ7階研修室

講師：大工原潤氏(さいたま市民活動センター長)

会費：無料 定員：30名 申込：8月17日まで

【JOYボラ2016配布中】

夏休み期間に中、こどもや若者のボランティア体験を受けれてくれるイベントや団体を紹介した情報資料で、けやきプラザや市内公共施設などで配布中です。

上記のイベントの申し込みや記事の問い合わせは下記にて受け付けています。
あびこ市民活動ステーション ホットライン 04-7185-6300